

原料費調整制度に基づく平成30年8月分の調整額について

諏訪瓦斯株式会社

「原料費調整制度」とは、輸入原料価格の変動を迅速にガス料金へ反映することを目的とし、輸入原材料の価格変動に応じてガス料金を調整する制度です。基準として設定した原材料の「基準平均原料価格」と貿易統計価格の3ヵ月ごとの「平均原料価格」とを比較し、その変動分を単位料金(1m³あたりの単価)で毎月調整します。

今回の調整は、平成30年3月から平成30年5月の平均原料価格に基づくものです[原料費調整のイメージ]

3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
3ヵ月の平均原料価格			→		反映		
			→		反映		
			→			反映	
			→				反映

○平成30年8月検針分に適用される料金表[一般契約]

(税込)

	1か月のご使用量	基本料金 (1か月あたり)	調整単位料金(1m ³ あたり)	
			平成30年7月検針分	平成30年8月検針分
料金表 A	0 m ³ から 11 m ³ まで	772.20 円	192.26 円	193.01 円
料金表 B	11 m ³ 超～115 m ³ まで	874.80 円	182.96 円	183.71 円
料金表 C	115 m ³ 超～	1,925.64 円	173.82 円	174.57 円

○調整額の算定 **基準平均原料価格 38,910円/トン**

平成30年3月から30年5月のLNG輸入価格の平均値 (貿易統計値 CIF 価格)	53,110 円/トン(10 円未満四捨五入)
平成30年3月から30年5月のプロパン輸入価格の平均値 (貿易統計値 CIF 価格)	56,680 円/トン(10 円未満四捨五入)
平均原料価格の算出 53,110 円/トン×0.9771 +56,680 円/トン×0.0474	54,580 円/トン (10 円未満四捨五入)
原料価格変動額の算定 (平均原料価格－基準平均原料価格)	54,580 円 - 38,910 円 = <u>15,600 円/トン</u> (100 円未満切り捨て)
原料価格 1 トンにつき 100 円変動した場合のガス料金 1 m ³ あたりの価格変動額	0.077 円
平成30年8月分検針の調整額(1 m ³ あたり)	15,600 円×0.077 円÷100×1.08 = <u>12.97 円</u> (税込) (小数点第3位切り捨て)
平成30年7月分検針の調整額(1 m ³ あたり)	12.22 円(税込)
(8月分)対(7月分)増減(1 m ³ あたり)	<u>+0.75 円(税込)</u>

平成30年8月分の単位料金を 1 m³あたり +12.97 円(税込) 調整させていただきます。

○標準一般家庭における影響額

(税込)

1か月のご使用量	平成30年7月分料金	平成30年8月分料金	影響額
20m ³	4,534円	4,549円	+15円